

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2002-110150 (P2002-110150A)

【公開日】平成 14 年 4 月 12 日 (2002.4.12)

【出願番号】特願 2000-303494 (P2000-303494)

【国際特許分類第 7 版】

H 0 1 M 4/32

H 0 1 M 4/62

【F I】

H 0 1 M 4/32

H 0 1 M 4/62 C

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 5 月 21 日 (2004.5.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】本発明は多孔質導電性基板（多孔質ニッケル焼結基板）に酸性ニッケル塩を¹含浸し、ついでアルカリ処理などを行うことにより、多孔質導電性基板の空孔中に水酸化ニッケルを主成分とする正極活物質を充填したアルカリ蓄電池用ニッケル極の製造方法に関する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

【従来の技術】近年、高エネルギー密度の二次電池の要望に応えるため、ニッケル - カドミウム蓄電池やニッケル - 水素蓄電池などのアルカリ蓄電池の改良が進められている。この種のアルカリ蓄電池に用いられるニッケル極は、多孔質導電性基板（多孔質ニッケル焼結基板）に酸性ニッケル塩を²含浸し、ついでアルカリ処理などを行うことにより、多孔質導電性基板の空孔中に水酸化ニッケルを主成分とする正極活物質を充填して製造されるものである。